

令和7年(2025年)3月14日

報道関係 各位

真庭市役所

# 市内高等学校の魅力化を！ 「再編整備アクションプラン」策定に 関する真庭市長コメント

発表日▶ 令和7年3月14日(金)

真庭市では、市内高等学校の魅力化に取り組んでいますが、このたび、岡山県教育委員会より「高等学校体制整備実施計画」に基づく「再編整備アクションプラン」が策定されたことを受けまして、真庭市太田昇市長から別添のとおりコメントを発表いたしますので、よろしく願いいたします。

## お問い合わせ先▶

真庭市教育委員会教育総務課(担当 浅野)  
TEL0867-42-1085  
FAX0867-42-1416

## 発信元▶

真庭市総合政策部秘書広報課(担当 前田)  
TEL0867-42-1163  
FAX0867-42-1353

## 「再編整備アクションプラン」策定に関する真庭市長コメント

高校は教育機関であると同時に、人材育成や産業振興など、地域の将来に直結し、地方創生の核となる存在として、地域との共創により維持・発展させていくべきものであり、再編整備の議論は、期限を設けることなく、地域の合意と理解の下で進める必要があります。

真庭高等学校は、現行「高等学校体制整備実施計画」に従って複数校地統合の完了を迎え、今年度、最初の卒業生が巣立ったところです。勝山高等学校も普通科単科となって、最初の卒業生を送り出したところです。

まず取り組むべきは、誕生したばかりの高等学校を選択し学んでいる生徒が、安心の中で充実した高校生活を送ることができ、中学生が希望をもって進路選択ができるように、県教育委員会と地元自治体が協力して高等学校の魅力を一層高める努力を重ねることだと考えます。

県及び県教育委員会には、前例にとらわれることなく、必要な教職員の配置や重点的な財政投資など、設置運営者としての責任・役割をしっかりと果たすことを強く求めます。

真庭市においても、昨年（令和6年）7月に、「ゆめ学び創造基金」（2億円）を設置するなど、高校の魅力化に全力で取り組んできており、引き続き、地域をあげて、魅力ある多彩な学びの場を創造し、こどもたちの成長と夢の実現を応援していきます。

令和7年3月14日

真庭市長 太田 昇